

2015年

11月7日(土) - 12月13日(日)

開館時間 / 午前10時 - 午後6時 (入場は午後5時30分まで)

休館日 / 11月9日(月)・16日(月)・30日(月)、12月7日(月)

入場料 / 一般: 500円 唐津市内の75歳以上の人: 250円 (受付で唐津市のシルバークードや健康保険証をご提示ください)

※有料入場者20人以上の団体は2割引

・高校生以下の人は無料

・障害者手帳を持っている人と同行者1人は無料(障害者手帳をご提示ください)

主催 / 唐津市近代図書館 企画協力 / キュレイターズ

ギャラリートーク

11/15(日)・22(日)・23(月・祝)・29(日)、12/13(日)
午後2時から(30分程度)
(申し込み不要、要入場料)

名画座

「武器よさらば」(1932年・アメリカ)
「チャップリンの冒険」(1914-17年・アメリカ)
「雄呂血／逆流」(1925年／1924年・日本)
「カリガリ博士」(1919年・ドイツ)
日時:唐津市近代図書館にお問い合わせください。ホームページにも掲載しています。
会場:唐津市近代図書館 3F ビデオルーム
(申し込み不要、入場無料、定員先着30人程度)

夢も歩いた むかしの唐津を見てみよう

明治末期～昭和初期の唐津の写真パネル
を1Fロビーに展示します。



唐津市近代図書館
美術ホール

竹久夢二・藤島武二・杉浦非水たちが描いた挿絵の美

大正イマジユライの世界



大正イマジュリイの世界 竹久夢二・藤島武二・杉浦非水たちが描いた挿絵の美

イマジュリイ(imagerie)とは、イメージ図像を意味するフランス語で、装幀や挿絵、ポスター、絵はがき、広告、マンガ、写真など大衆的な複製図像の総称でもあります。

明治維新以来、近代化・西欧化の道を行ってきた日本では、大正から昭和初期にかけて、新しい大衆文化が開花しました。マスメディアが発達し、印刷技術の革新により出版界が隆盛したのもこの頃で、印刷としての図像が多様に登場します。竹久夢二や高島華宵、武井武雄が描く抒情あふれる乙女や子どもの世界、アール・ヌーヴォーやアール・デコの様式を取り入れた藤島武二や杉浦非水、橋小夢や竹中英太郎らによる妖しいきらめきに満ちた怪奇幻想美—独創的な発想から生まれたさまざまな意匠は、当時の人々の目にどれほど新鮮に、魅力的に映ったことでしょう。

本展覧会では、ポピュラー・カルチャーの旗手として人々の心をつかみ、大正とその前後の時代を彩ったイマジュリイに注目します。いまなお清新な輝きを放つ作品の数々をお楽しみください。



1



2



3



4



5



6



7



8

- 表 竹久夢二 「汝が碧き眼を開け」(セノオ楽譜五六番) 7版(部分) 昭和2年/大正6年初版 表紙 セノオ音楽出版社
 1. 橋口五葉 「NIPPON YUSEN KAISHA」大正3年から大正4年 バンフレット
 2. 岸田劉生 長与善郎「或る人々」再版 大正9年/同年初版 装幀 春陽堂
 3. 小林かいち 「彼女の青春」絵はがきセットより 大正14~15年頃 京都京極さくら井屋
 4. 竹中英太郎 「杏の花の朝」昭和8年 絵はがき 月刊満州社
 5. 藤島武二 与謝野寛「鴉と雨」大正4年 装幀 東京新詩社
 6. 杉浦非水 「初夏」第22巻第5号 昭和7(1932)年 表紙 三越呉服店
 7. 斎藤佳三 「魔王」(セノオ楽譜二四三番)再版 大正13年(大正11年初版) 表紙 セノオ音楽出版社
 8. 武井武雄 北原白秋(詩「びっくり鶏」)「コドモノクニ」4巻7号 挿画 大正14年 東京社

交通案内

- 福岡空港・博多・天神方面から
 - ・福岡市営地下鉄「唐津・西唐津行き」でJR唐津駅下車・徒歩1分
 - 地下鉄博多駅から約1時間25分
 - ※「筑前前原行き」は唐津行きに接続
 - ・高速バス(昭和バス)
 - 博多駅交通センター発(天神バスセンター経由)「からつ」号でアルビノ前下車・徒歩約3分
 - 博多駅交通センターから約1時間20分、天神から約1時間10分
- 佐賀方面から
 - ・JR唐津線「唐津・西唐津行き」でJR唐津駅下車・徒歩1分
 - JR佐賀駅から約1時間10分



〒847-0816 佐賀県唐津市新興町23番地 (JR唐津駅南口すぐ)
 TEL 0955-72-3467 唐津市近代図書館美術ホール [検索](#)